

# 夏に多い皮膚病【膿皮症】

夏は気温と湿度が高く、細菌が繁殖しやすい状態です。  
細菌が原因となって起こる皮膚病、「膿皮症」に気をつけましょう。



舐めたり引っ掻いたりすることで悪化してしまいます。



- ▶ 痒み・赤みが出る
- ▶ 皮膚にぶつぶつ（膿疱）が出来る
- ▶ かさぶたと一緒に毛が抜ける

※膿疱は脇や内股といったいわゆる「蒸れる」場所にできやすいですが、おなか～胸、背中と全身的に広がることもあります。

## 治療法

膿皮症の治療の基本は消毒と抗生物質です。症状が全身的に広がっている場合は、抗生物質の飲み薬で治療することが必要になります。

## 予防法

日頃のスキンケア（シャンプーや保湿）で皮膚バリアを強化してあげることや、適切なフードを選択してあげることが治療や予防として大切になります。